

## 「唯一の福音を伝える」

ガラテヤの信徒への手紙 1 章 1 1 - 2 4 節

森島 牧人 牧師

今日の聖書は、最初の頃パウロとも呼ばれたパウロが福音を示された後、どのようにキリスト者になって行ったかの経緯が語られています。というのは、熱心なユダヤ教徒として先頭に立ってキリスト教会や信徒を迫害していたパウロが、一転してキリスト者になったばかりではなく、使徒となってキリスト教の中心的な信仰、つまり主イエス・キリストによって救われるという福音を、主イエス・キリストを全く知らない異邦の人々に伝える伝道者となったからです。

パウロもその一人ですが、聖書には使徒と呼ばれる人々が出て来ます。この人たちは単なるキリスト者ではありません。私たちは教会を通して救われたのですが、その教会を立てたのがこの使徒と呼ばれる人々でした。その意味では私たちとは立場を異にしています。しかし、今日の箇所を注意深く読んで行くと、パウロの回心是非常にドラマティックな出来事ですが、彼が強調する核心は、神の働きによってキリストと出会い、そのキリストによって新しい人生の道が与えられたということで、それはパウロのように劇的ではないとしても、私たちが主イエスと出会い、新しい人生を生きる事となったという点では全く同じと思われるのです。

使徒言行録 9 章にはパウロとキリストの出会いが記されていますが、パウロは手紙の中で自分が人々に伝えた福音は<人から受けたものではなく>、主イエス・キリストと出会った出来事の中で、直接的に主イエス・キリストからいただいたものだとして強調しています。ガラテヤ 1 : 1 3 には「・・・わたしは徹底的に神の教会を迫害し滅ぼそうとしていました。また、先祖からの伝承を守るのに人一番熱心で・・・。しかし、わたしを母の胎内にあるときから選び分け、恵みによって召し出してくださった神が、御心のままに、御子をわたしに示して、その福音を異邦人に告げ知らせるようにされた・・・。」とあり、I コリント 1 5 : 3 には「(復活の主イエスは) 次いでヤコブに現れ、その後すべての使徒に現れ、そして最後に、月足らずで生まれたようなわたしにも現れました。」とあります。福音を復活の主イエスから直接伝えられたことこそが、パウロが使徒たる所以であると言明しているのです。

先ほどと同じように、ここでも思うことは、教会を、礼拝を通してキリスト者とされた私たちは使徒ではありませんが、しかし基本的にはこれも神の選びであり、パウロやペトロとは違うかもしれませんが、私たち一人一人にも、その生き方を変えさせるような、主イエス・キリストとの出会いがあったのではないかと思うのです。

私は高校二年の時にバプテスマを受け、キリスト者になりました。当時は理系の大学に進み、技術者になりたいと考えていました。にもかかわらず神学大学に進むことになったのですが、大学二年生の時に学園紛争が起り、機動隊が大学の構内に入るという混乱の中で、共に学んでいた多くの友人が大学を去って行きました。この出来事は私に大きな苦悩をもたらしました。それは今も私の中にあります。しかしあの時、苦しみ悩む中で、主イエス・キリストがどういうお方であるかが、少しずつ分かって行ったような気がします。<主イエスが私と共に在す>という御言葉にしっかり立つのにも時間がかかったのです。

また、キリスト者の在り方として<キリストを身に纏う>ということが言われますが、この<キリストを着る>とは死装束であり、滅ぼされるはずの罪人がそれを着て神の前に立てるということであると明確に理解出来たのは、十数年前脳梗塞で倒れた時でした。リハビリを続けながら、言葉を失ったままかも知れないと自身のこれからの生涯に思いを巡らす中で、私は<キリストを着て、キリストの兄弟として神の前に立つ>のだという信仰に導かれたのです。

神の教会に対し迫害の限りを尽くしていたパウロが、復活の主イエスと出会ったのはダマスコへの途上でした。教会を滅ぼすために道を急ぐ彼の前に主イエスは現れ、神が主イエスを通してパウロを愛し救っておられるのだと示されたのです。ロマ書 5 : 1 0 に「敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。」とあります。パウロはこの信仰によって、エルサレムから遠く離れた異郷の人々への伝道に踏み出したのです。それは「唯一の福音」を伝える命を懸けた伝道でした。

礼拝を通して御言葉を聞き、第一主日の主の晩餐によって養われ、神をほめたたえる者とされて行く。私たちのために十字架に架かり命を捨てられたキリスト御自身こそが、<唯一の福音>であることを確信しつつ生きて行く、それが私たちです。この週の歩みの中で、そのことを具体的に表現して行きたいと思います。

(説教要約 羽入田悦子)